

子どもたちが文化芸術・スポーツに 触れ、学ぶ取組みについて

平成 28 年 11 月 4 日
北九州市教育委員会

北九州市教育大綱

～ 子どもたちのシビックプライドの醸成 ～

I 『北九州市子どもの未来をひらく教育プラン』の推進

北九州市教育の目標

「思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ」

- ◎自分の可能性を信じ、夢や希望をもつ子ども
- ◎自分の力でやり遂げ、自立する力をもつ子ども
- ◎思いやりの心もち、行動できる子ども

子どもの未来をひらく教育を支える力

学校、家庭、地域それぞれがもつ教育力を発揮し、連携して子どもの教育を推進

II 市全体で子どもの教育を支える4つの柱

1. 本市が誇る文化芸術・スポーツ、歴史などの特性を活かした教育の推進

- 本市ゆかりの先人や伝統文化など、地元の誇りとする文化を継承する取組みの推進
- 音楽や美術など文化芸術、スポーツに触れる機会の充実
- 将来の文化芸術、スポーツを担う人材の育成
- 環境未来都市としての独自性を活かした環境教育
- 地元企業などと連携・協力したキャリア教育

2. 市民総ぐるみで子どもの教育を支える取組みの推進

- 学校、家庭、地域の更なる連携の推進
- 小学校応援団など企業と連携した取組みの推進
- 家庭、地域や関係機関等と連携した防災・安全に係る取組みの推進
- 地域での子どもの居場所づくり

3. 特別な配慮を必要とする子どもの支援

- 障害のある子どもへの支援
- いじめ、不登校等へのきめ細やかな対応
- 子どもの貧困対策

4. 少子・高齢化社会を踏まえた公共施設マネジメント

- 行財政改革大綱を踏まえた公共施設マネジメント

平成27年11月18日

北九州市長 北橋 健治

学校における主な取組み

(1) 文化芸術に係るアウトリーチ、インリーチ

子どもたちが優れた文化芸術と出会うことができるような場や機会を充実させます。

〔市民文化スポーツ局等と連携して実施〕

アウトリーチ／もともとは「手を伸ばすこと」という意味。「(公的機関や奉仕団体の)出張サービス」という意味でも用いられる。アーティスト等を学校や福祉施設などに派遣し、ミニ・コンサートや参加体験型事業、レクチャーなどを行う館外活動のことをいう。
インリーチ／関係者向けに行う体験型ワークショップや、学校の課外活動などをホールに受け入れる仕組みのことをいう。

○中学生芸術鑑賞教室

未来を担う子どもたちに、音楽や舞台芸術の素晴らしさを体験させ、情操豊かな人間形成の一助となることを目的として、「舞台観賞教室」と「音楽鑑賞教室」を行っています。

【平成27年度実績】

- ・舞台観賞教室 「TAOドラムパフォーマンス」
実施校：7校 参加人数：771名
- ・音楽鑑賞教室 「歌曲、オペラアリアに親しもう」
「ウィーンの音楽にふれるヴァイオリンコンサート」
実施校：23校 参加人数：2,509名

【平成28年度実績】(予定分含む)

- ・舞台観賞教室 演劇「ジャンヌ・ダルク」
実施校：9校 参加人数：1,342名
- ・音楽鑑賞教室 「ショパン、ベートーヴェンのピアノ曲に親しむ」
「室内楽に親しもう」
実施校：18校 参加人数：1,937名

○美術鑑賞教室

より多くの小・中学生に美術鑑賞の機会を提供するため、「小学生美術鑑賞教室」及び「中学生美術鑑賞教室」を行っています。就学段階や授業計画にあわせた鑑賞プログラムを作成し、ボランティアによる作品解説も行っていきます。

※現在、美術館本館が工事中のため、分館で実施。

○劇団四季「こころの劇場」北九州公演〔子ども家庭局〕

〔主催：劇団四季 共催：北九州市、北九州市教育委員会 協賛：日本生命保険(株)、ニッセイ文化振興財団 他〕

子どもたちに優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、夢を与え、情操を育み、人格の形成に寄与します。

【平成28年度概要】

- ・演 目 劇団四季ミュージカル「ガンバの大冒険」
- ・招待対象 市内小学校(市立・国立・私立)、特別支援学校小学部6年生
- ・参加者数 134校 8,411名(予定)
- ・開催日 11月29日、11月30日、12月1日(5ステージ)

○28年度新規中学校音楽科における箏の授業支援

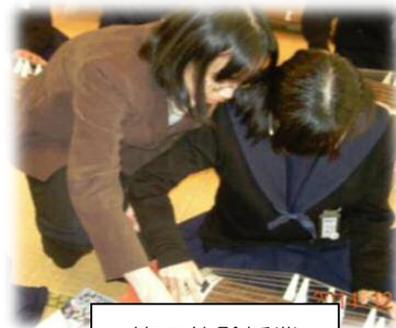
(優れた文化芸術との“出会い”創造事業の一部〔市民文化スポーツ局〕)

中学校音楽科の和楽器体験において、より良い体験授業を提供できるよう、指導員の派遣、箏の貸出しを行い、授業を支援します。

【平成28年度実績】(予定分含む)

支援員派遣：11校

箏の貸出し：12校



箏の体験授業

○28年度新規伝統文化体験モデル事業

(優れた文化芸術との“出会い”創造事業の一部〔市民文化スポーツ局〕)

各教科、領域と関連づけて、我が国や地域の伝統文化を体験させることを通して、子どもたちに我が国や郷土の伝統や文化に対する関心を深める取組みを、各学校の状況に応じて計画、実施します。(国語科の書道、音楽科の和太鼓、社会科や総合学習の華道や茶道)

【平成28年度実績】 小学校15校 中学校5校(予定分含む)

○音楽アウトリーチ事業

(優れた文化芸術との“出会い”創造事業の一部〔市民文化スポーツ局〕)

北九州市民文化賞等の受賞者や地元の演奏家が、市内小学校等を訪問して、コンサートを行います。

【平成28年度実績】 23回(小学校13校) 延べ 639人(予定分含む)

○ふれあいコンサート〔市民文化スポーツ局〕

日頃、演奏会場に出かけることの困難な子どもたちや入所者に、生の音楽演奏を鑑賞してもらい、感性を育み、安らぎを感じてもらうことを目的に、北九州市内の特別支援学校等で訪問コンサートを開催します。

【平成27年度実績】 実施箇所：8箇所 参加人数：2,023人

【平成28年度実績】 実施箇所：8箇所(予定分含む)

○スクールコンサート〔北九州市教職員互助会〕

難病や障害を克服したキーボード奏者 渡辺知子さんの生き方や演奏を通して、感受性の豊かな中学生が「生きることと夢をもつことの大切さ」について学びます。

【平成27年度実績】 実施校：10校 参加人数：3,537名

【平成28年度実績】 実施校：11校 参加人数：3,371名(予定分含む)

○巡回公演、芸術家の派遣事業〔文化庁〕

文化庁が選定した文化芸術団体が、巡回公演(合唱・オーケストラ・児童劇・ミュージカル・能など)を行います。公演前に文化芸術団体が実施校へ赴き、観賞指導や実技指導を行うワークショップを開催します。また、個人又は少人数の芸術家(書道・和太鼓・室内楽など)を派遣し、講話や実技披露、実技指導を行います。

【平成27年度実績】 巡回公演：16校 芸術家の派遣：16校

【平成28年度実績】 巡回公演：9校 芸術家の派遣：15校(予定分含む)

(2) 北九州市中学生文化芸術祭

中学生の文化活動の充実を図るとともに、本市の文化的風土を醸成するため、「中学生合唱フェスティバル」、「連合音楽会」、「文化総合発表会」を一体の芸術祭として市内各所で順次開催します。



中学生合唱フェスティバル

(3) 「合唱の街・北九州」に向けての取組み〔市民文化スポーツ局〕

本市が「合唱」を通して、さらに元気な人づくり、街づくりを進める中で、「合唱」をひとつの入口として、子どもたちが文化に触れる機会の創出・拡大を進めます。

【平成27年度実績】

- ・富永裕輔スペシャルコラボコンサート ～明日への翼～（小中学校合唱部と合同ステージ）
- ・合唱組曲「北九州」演奏会（中学校合唱部が参加）
- ・（再掲）北九州市中学生合唱フェスティバル

【平成28年度実績】

- ・「グラン ソレイユ コーラスフェスティバル」に日明小学校合唱部が参加
- ・オペラ歌手 村上敏明さんによる中学校合唱部の公開練習

(4) 北九州市歌の普及

北九州市歌のCD及び伴奏付きの楽譜を各学校に配布し、学校教育の様々な場面で活用し、普及・啓発に努めています。

【主な取組み】

- ・小学校4年生用の「ひまわり（音読暗唱ブック）」に掲載
- ・オルゴール版市歌を休み時間や掃除の時間に流す
- ・自然教室（小学校）及びふれあい合宿（中学生）で歌う
- ・「中学生合唱フェスティバル」で歌う

(5) 部活動を通じた文化芸術・スポーツへの取組み

本市の中学校では、さまざまな運動部、文化部が開設されています。部活動を通じて、生徒が自分の個性や能力を伸ばすとともに、健全な心と体を育みます。

【部活動参加生徒数等の状況（平成28年5月1日現在）】

- ・部活動参加生徒数 17,506人（75.1%）〔運動部 12,651人、文化部 4,855人〕
運動部 … バスケット、野球、バレーボール、陸上、サッカー、剣道 など
文化部 … 美術、放送、吹奏楽、合唱、華道、茶道、箏曲 など

(6) 音読暗唱大会

市立小・中学校では、「よみ聞かせ」や「音読暗唱大会」など、音読暗唱ブック「ひまわり」を通して、文学に触れる活動が行事や学習活動の中で数多く行われています。

また、「ひまわり」には、北九州にゆかりの作家（みずかみ かずよ）も掲載されています。



音読暗唱大会

(7) 郷土作家（郷土資料）コーナーの設置

市立小・中学校に、「地域・郷土コーナー」を設置し、北九州にゆかりのある作家の書籍に触れる機会を設けています。



郷土作家（郷土資料）コーナー

(8) 28年度新規シビックプライド講座

本市の教職員及び教職を志す大学生向け講座「自主講座」に、保護者や市民の方々も参加できる「シビックプライド講座」を開催しています。

【シビックプライド講座内容（10講座）】

- ・今こそ！シビックプライド ・世界が注目！ロボット村 ・北九州市立美術館の40年
- ・祝！明治日本の産業革命遺産 ・世界遺産登録への長い長い道のり
- ・北九州市にも能舞台があった！伝統芸能に親しもう ・北九州市民は環境問題とどう向き合ってきたか
- ・えっ！あの人もこの人も北九州ゆかりの文学者 ・銀河鉄道999は北九州から飛び立つ！北九州の漫画家
- ・映画の街・北九州 ～フィルムコミッション事業がまちにもたらした8つの効果～

(9) 世界遺産「明治日本の産業革命遺産」を学ぶ取組み〔企画調整局〕

（リーフレット、出前授業など）

世界文化遺産として登録された「官営八幡製鉄所」について、子どもたちが学ぶ機会を提供するとともに、本市の歴史や文化に興味を持つことができるように、平成28年3月に子ども向けリーフレット「みんなで学ぼう！北九州市の世界遺産」を作成し、「官営八幡製鉄所」について学習する小学5年生に配布し、授業等で活用しています。

また、世界遺産学習の一環として、出前授業（鞘ヶ谷小学校）の実施、市内小・中・特別支援学校へユネスコ世界遺産登録推薦書（ダイジェスト版）の寄贈、学童クラブの夏休み活動の一環として、官営八幡製鉄所旧本事務所眺望スペースでのミニ講座などを行っています。



(10) オリンピック・パラリンピック・ムーブメント調査研究事業

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、オリンピックの教育的価値の普及やパラリンピック・障害者スポーツへの関心を高め、スポーツを通じた異文化・国際理解の促進等を目的として、西小倉小、思永中で「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント調査研究事業（文部科学省）」を行っています。

【主な取組み】

- （西小倉小）
 - ・北九州市発祥の「ふうせんバレーボール」を通して、障害がある人を含む多様な人が一緒に取り組めるスポーツの体験
 - ・英国パラリンピックCEOとの交流授業
 - ・パラリンピアンによる講演、実技及び体験授業
- （思永中）
 - ・オリンピック種目のホッケーを授業に取り入れた「ユニホック」の体験
 - ・オリンピックによる講演

地域や家庭における主な取組み

(1) こども文化パスポート事業

子どもたちが、地域の文化・歴史・自然に接することにより、豊かな心を育くむとともに親子のふれあう機会を増やすことを目的として、夏休み期間中に、文化施設をはじめとするさまざまな施設に無料(一部割引)で入場できるなど施設で特典が受けられるパスポートを配布しています。

平成28年度は参加施設を12施設増加し、事業の充実を図りました。

【平成28年度実績】

- ・パスポート利用者数 延べ58,161人
- ・対象施設 全76施設

(うち北九州市47施設、下関市17施設、長門市4施設、中間市1施設、遠賀町1施設、芦屋町2施設、水巻町1施設、岡垣町3施設)



(2) G7北九州エネルギー大臣会合開催記念「ユースエネルギーサミット北九州」

〔主催：G7北九州エネルギー大臣会合推進委員会、読売新聞西部本社、北九州青年会議所〕

G7北九州エネルギー大臣会合開催を記念して、次代を担う高校生・中学生・小学生代表が、エネルギー有効活用や環境保全の観点から自らの役割について議論する「ユースエネルギーサミット北九州」を平成28年4月17日に開催しました。

【基調テーマ】

エネルギー有効活用や環境保全に向けた私たちの役割

【イベントの概要】

- ・こどもアンバサダープログラム(小学生)
- ・北九州ドリームサミット(中学生)
- ・ハイスクールエネルギーサミット(高校生)

(3) 夢・スポーツ振興事業〔市民文化スポーツ局〕

(選手強化事業、トップアスリート派遣事業)

選手強化事業は、競技力向上を図るため、平成26年度から選抜された競技力の高いジュニア選手を対象に、オリンピックのメダリスト等が直接指導する種目別強化事業を実施しています。また、トップアスリート派遣事業は、年間を通して学校のクラブ活動などに派遣する通年型強化事業を平成28年度より開始しました。

【主な取組み】

- ・選手強化事業は、平成27年度以降5種目から8種目に拡大し実施
- ・トップアスリート派遣事業は、アテネオリンピックバドミントン代表 森かおり選手の派遣を実施(年間20回程度予定)

今後の取組みの方向性

○市立美術館におけるインリーチの充実

市立美術館は、西日本有数の近現代美術のコレクションをはじめ、世界的な建築家である磯崎新による建築と市内を見渡す丘の上という立地を特徴にしています。平成29年11月のリニューアルオープンを契機に、より多くの子どもたちが、市立美術館において本物の美術作品を鑑賞するとともに、建築の見学、美術館からの市内眺望などの体験を通じて、シビックプライドの醸成にも繋がる取組みを検討していきます。



○本市ゆかりの児童文学者を顕彰し、子どもたちに伝える取組み

子どもの読書活動の推進拠点として、また子ども向け専門図書館として、良質な資料を豊富に収集・提供し、市立図書館による児童サービスの統括機能、学校図書館支援センター機能、関係機関との連携の推進など、様々な支援を行う「子ども図書館」の整備を進めます。



また、「子ども図書館」に併設予定である本市ゆかりの児童文学を顕彰するコーナーの機能について検討していきます。

○世界遺産「官営八幡製鐵所関連施設」に触れ、学ぶ取組み

子どもたちが、世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の官営八幡製鐵所関連施設等を社会科見学し、本市の歴史や文化への興味や理解を深めることができるような取組みを検討していきます。

○平成32年度「第20回全国中学校総合文化祭福岡大会」開催に向けた準備

東京オリンピック・パラリンピックが開催される平成32年8月に、北九州市で「第20回全国中学校総合文化祭福岡大会」が開催されることが決定しました。大会では、全国の中学生に文化芸術活動の場を提供することで豊かな情操を育み、未来へ繋がる創造力を高めることができ、個性豊かな表現活動を通じて芸術文化研究活動の充実・発展を図ることができる大会となるよう検討・準備を進めていきます。

各学校における地元文化等を活用した特色ある取組み



柄杓田小
「全校児童イカの一晩干し体験」



市丸小
「絶滅危惧種「ガシャモク」の栽培」



河内小
「南河内橋での50メートル走」



曾根東小
「曾根干潟クリーン作戦～地域とともに」



牧山小
「半世紀続いている鼓笛隊」



中島小
「小倉祇園太鼓競演会出場」